

児童発達支援事業所における自己評価総括表（公表）

公表：令和8年2月16日

事業所名 あゆっこ益田

評価実施期間 令和7年11月1日～11月30日

保護者評価 / 対象者数 42名 回答者数 41名

従業者評価 / 対象者数 5名 回答者数 5名

自己評価表作成日 令和7年12月1日

分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 個別対応しているため、子どもさんの特性、興味、関心を熟知し、支援方法に精通している。 刺激のない空間で療育している。 	<ul style="list-style-type: none"> サービス終了後、保護者に当日の様子を丁寧に説明している。 担当医師、保育所、相談支援事業所と適時に情報交換している。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や関係機関と情報交換を重ねながら信頼関係を深め、より一層子どもさんの発達支援に努めたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> サービス利用時には、保護者が同伴している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもさんのサービス提供中に、保護者から困りごとの相談を受けている。 待機しているスタッフが、できるだけ話をする時間を持つようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭内での対応について、自己研修の機会があれば案内する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援利用者には6ヶ月毎に発達検査を案内している。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達状況を確認し、個別対応の課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> とくにはありません。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保育所等への登園のため、利用時間が登園前、降園後を希望され、調整が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> いたしかたないかなと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 状況を説明しながら、希望に添えるような対応を提案する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 少子化 	<ul style="list-style-type: none"> 地域全体の課題 	<ul style="list-style-type: none"> 適正に運営ができるシステムが必要。

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表（公表）

公表：令和8年2月16日

事業所名 あゆっこ益田

評価実施期間 令和7年11月1日～11月30日

保護者評価	／	対象者数	23名	回答者数	19名
従業者評価	／	対象者数	5名	回答者数	5名

自己評価表作成日 令和7年12月1日

分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・個別対応しているため、子どもさんの特性、興味、関心を熟知し、支援方法に精通している。 ・刺激のない空間で療育している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス終了後、保護者に当日の様子を丁寧に説明している。 ・担当医師、小学校、相談支援事業所と適時に情報交換している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や関係機関と情報交換を重ねながら信頼関係を深め、より一層子どもさんの発達支援に努めたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用時には、保護者が同伴している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもさんのサービス提供中に、保護者から困りごとの相談を受けている。 ・待機しているスタッフが、できるだけ話をする時間を持つようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内での対応について、自己研修の機会があれば案内する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校へ通学しているため、利用が下校後、土曜日に限られ、調整が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日と16時以降の時間帯を学童の時間帯として割り当てるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況を説明しながら、希望に添えるような対応を提案する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体の問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、対象を小学2年生までとしているが、必要に応じた対応を検討することも考えている。

保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表（公表）

公表：令和8年2月16日

事業所名 あゆっこ益田

評価実施期間 令和7年11月1日～11月30日

保護者評価	／	対象者数	4名	回答者数	4名
訪問先評価	／	対象施設数	4件	回答件数	4件
従業者評価	／	対象者数	2名	回答者数	2名

自己評価表作成日 令和7年12月1日

分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 個別対応しているため、子どもさんの特性、興味、関心を熟知し、支援方法に精通している。 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問後、保護者に当日の様子を丁寧に説明している。 担当医師、保育所、相談支援事業所と、適時に情報交換している。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や保育所と情報交換を重ねながら信頼関係を深め、より一層子どもさんの発達支援に努めたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保育所等訪問支援は頻度が月1回に限られる。 保育所以外の事業所の支援ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 派遣するスタッフは、個別対応も担当しており、時間を割きにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 人材の確保と養成に時間が必要です。 適正に運営ができるシステムが必要。
2	<ul style="list-style-type: none"> 市外の訪問支援事業所の場合は1日1カ所しか訪問できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 移動に時間がかかり、複数の事業所にサービスが提供できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 適正に運営ができるシステムが必要。